

# 石巻市立大谷地小学校 「学校防災アドバイザー」が地域の災害 特性への対応について助言します！

地域の災害特性を踏まえた実効性のある学校防災体制を確保するため、石巻市立大谷地小学校へ「学校防災アドバイザー」を派遣し、管理職及び防災主任に対し、津波警報が出た場合の避難場所や、登下校時に大地震が発生した場合の安全確保の方法について助言を行います。

つきましては、ぜひ、取材をしていただき、地域の災害特性を踏まえた学校防災の取組を、県民の皆様にご紹介いただければ幸いです。

1 日時 令和3年7月8日（木）午前10時から正午まで

2 場所 石巻市立大谷地小学校（石巻市小船越字角田16-2）  
大谷地小学校区内各所

3 予定

（1）大谷地小学校区内視察

北上川に挟まれた地区である大谷地小学校区内を、「学校防災アドバイザー」と共に視察し、地域の災害特性について、専門的な立場から助言をいただきます。

（2）津波警報発表時の高台避難・登下校時の安全確保についての指導助言

津波警報発表時の避難場所として定めている高台への避難や、登下校時の大規模地震が発生した際の避難場所が適切であるか、専門的な立場から助言をいただきます。

4 学校防災アドバイザー

東北大学災害科学国際研究所 教授 佐藤 健 氏

石巻市立大谷地小学校では、震度6弱以上、津波警報が出た場合は、高台の沢田山を避難場所として定めている。また同校の児童は、約7割が登校班を組み、自転車で登下校を行っており、登下校中に大規模地震が発生した場合には、学校に向かうか、地区の避難場所へ避難するか、を班のリーダーを中心に児童が判断して行動することとしている。今回、沢田山への避難や登下校時の避難場所の実効性があるかを確認するため、「学校防災アドバイザー」に専門的な立場から助言をいただくものである。

※ 新型コロナウイルスの感染防止の観点から、取材に当たりましては、現地での指示に従っていただきますようお願いいたします。なお、取材を希望する場合は事前に担当まで御連絡願います。